

親鸞聖人を慕う法要 報恩講法要



第58号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号

Tel: 078-341-5949



28日のご満座法要での様子

毎年この時期になると、全国各地の浄土真宗のお寺で「報恩講(ほうおんこう)法要」が勤まる。報恩講とは、字の意味からすると「恩に報いる集まり」である。

本願寺神戸別院においても、令和三年十一月二十六日(金)から二十八日(日)の三日にわたり「報恩講法要」が勤まった。この度も、去年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策をしながらの法要となり、例年のようなにぎやかさはないものの、肅々とマスク越しでのご縁となった。そのような状況ではあったが、昨年度に比べ感染状況が少し落ち着いていたことから、参拝者においてはマスク越しではあるが少し穏やかな表情も見取れ、「早く平穏な日常へ」との思いを寄せる姿があった。

本願寺神戸別院 報恩講法要

浄土真宗の立場からすると、「親鸞聖人の恩に報いる集まり」となり、お念仏のみ教えを伝えてくださった親鸞聖人のご生涯を偲び、そのご恩に報いて感謝申しあげる集いとなる。京都の西本願寺では、一月九日から十六日のご命日までの間、「御正忌(ごしようき) 報恩講法要」として勤められている。そのため全国各地のお寺では、時期を繰り上げて十(十一)月頃から「ほんこさん」「おとりこし」などと呼ばれてご門徒に親しまれるなか勤められている。



大竹先生の温かいお話

ご法話は、三日間を通じて、大竹輝道(おおたけきどう)師(三重県桑名市・聞光寺)。参拝者は、大竹師の優しい口調でユーモアを交えた温かいお話に、皆聞き入った様子であった。親鸞聖人の生き抜かれた時代、まさに激動の乱世の中、お念仏のみ教えを伝えるために歩まれたそのご苦勞に、深く感謝のお気持ちを含めて語られた。また、ご自身のご門徒との出会い、そして別れを通じてつないでくださったお念仏のみ教えのご縁や、闘病生活でつらく苦しい日々でありながらもまさに阿弥陀さまのおはたらきの中の私であって、そのままの私で救われていく身であったと涙ながらに語られた。改めて親鸞聖人のお念仏のみ教えに感謝申しあげるように、「なんまんだぶ、なんまんだぶ」とお念仏を申されていた。この度も、コロナ禍での開催ではあったが、その中でも出会えた法要のご縁を大切にしたいと感じられた法要であった。

阪神・淡路大震災物故者総追悼法要 いのちを考える研修会

一月十七日(月)午後一時半より、本願寺神戸別院本堂にて「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」が修行された。コロナ禍により、例年通りとはならな

いながらも、約六十名の参拝となった。法要は、感染症対策を十分に施してから営まれ、奏楽員による雅楽の音色から始まり『正信念仏偈作法』にて行われた。

続いて宗門関係学校の生徒による「いのち」をテーマとした作文朗読、「いのちを考える研修会」が開催された。

作文の朗読は、兵庫県内にある宗門関係学校の成徳学園・神戸龍谷中学校、睦学園・神戸国際中学校、成



講演動画に見入る参加者

徳学園・神戸龍谷高等学校、睦学園・兵庫大学付属須磨ノ浦高等学校から四名の生徒によって行われた。

研修会は、作家・活動家の雨宮処凛(あめみや かりん)氏の『コロナ禍、困窮者支援で命を支える現場から』と題した講演動画を視聴する形で行われた。

【雨宮氏のプロフィール】



一九七五年、北海道生まれ。作家・活動家。フリーターなどを経て二〇〇〇年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』(太田出版/ちくま文庫)でデビュー。二〇〇六年からは貧困問題に取り組み『生きさせろ! 難民化する若者たち』(二〇〇七年、太田出版/ちくま文庫)はJ・C・J賞(日本ジャーナリスト会議賞)を受賞。二〇二〇年以降のコロナ禍では、四月より「新型コロナ災害緊急アクション」メンバーとして生活困窮者の支援に取り組む。

【著書】

最新刊は、『コロナ禍、貧困の記録 二〇二〇年、この国の底が抜けた』(かもがわ出版)。

館内整備報告

ほぼすべてのトイレを洋式化

令和三年七月から八月にかけて別院内にあるほぼ全てのトイレを洋式トイレ(ウォッシュレット機能付)といたしました。

変更工事にあたり、「どの世代にもやさしいトイレを」とのスローガンのもとに、バリアフリーなどの要素を取り入れて行ったため、トイレの数は若干減りましたが、個室の広さは大きく取っております。また、赤ちゃん連れの方のためにも、おむつ交換台の設置もいたしましたのでご活用ください。

【多機能トイレ】

- 一階 男・女の両トイレ 各一ヶ所
- 【おむつ交換台設置トイレ】
- 一階 男トイレ 一ヶ所
- 女トイレ 二ヶ所

本堂に、サーマルカメラを設置

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策から体温の測定が日常的になりました。

体温の目安としてよく利用されているのが非接触型温度計です。非接触型温度計は、遠赤外線を利用した測定器です。地球上の物質はすべて遠赤外線という目には見えない電磁波を発しているようで、温度が高いと強く、低いと弱いといった事象を利用して測定されています。



1階 男トイレの多機能トイレ

サーマルカメラは、その測定をもとに、電磁波の強弱に色付けなどの画像処理を加えて視覚的にわかりやすく表示してくれます。

従前のハンディタイプの非接触型温度計は、額に向けて測定するため、対面距離がどうしても近くなることや都度操作しなければならぬなどの欠点がありました。

それに対して、設置したサーマルカメラは、その欠点をすべて解消し円滑に測定が行えるようになりました。

団体参拝のお知らせ

浄土真宗をお示しくださった親鸞聖人は、一一七三(承安三)年にお生まれになり、五十二歳になった一二二四(元仁元)年に浄土真宗の要となる書物『顕浄土真実教行証文類』を撰述され立教開宗となりました。

来年、二〇二三(令和五)年は、ご誕生から八百五十年、さらに、一年後の二〇二四(令和六)年は立教開宗八百年をむかえることから、京都の本願寺において下記の日程にて慶讃法要が営まれます。

本願寺神戸別院からも団体参拝【令和五年四月十日(月)】を予定しておりますので詳細が決まり次第ご案内いたします。

また、慶讃法要に向けて、「スローガン」「ご縁を慶び お念仏とともに」やロゴマーク(左)が制定されました。さらに、愛唱歌として、童話作家の山口タオさん作詞、歌手の加藤登紀子さん作曲の『みんな花になれ』(本願寺HPにて試聴できます)も制定されました。



ロゴマーク

**神戸別院の
団体参拝日**
2023(令和5)年
4月10日(月)

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

立教開宗800年

Joint Celebration
850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日	
2023(令和5)年	
第1期 3月29日(水)～4月3日(月)	第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)	第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
	第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺
親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

兵庫・岡山テレホン法話集

「他力」

たつの市 西福寺

尾野智行

二〇一〇年八月五日、南米チリの鉱山で大規模な落盤事故がありました。当時、地下で作業していた作業員三十三名が、地下七百メートルのところに閉じ込められました。

閉じ込められた場所は、気温三十二度、湿度九十五%以上の劣悪な状況下で、少しの食料があるのみ。どうすることも出来ず、ただ発見されることを願うのみでした。

それから十七日が過ぎ、作業員たちは、体重が十キロ以上も落ち、皆骨と皮の状態。とくに食料も底をついているし、体力も限界、立ちあがる体力すらも残されていませんでした。誰かがすり泣く声、うわごとのようなうめき声、意味不明な叫び声が常に響き渡り、ついに幻覚まで見え始めたそうです。

その時です。「ガガガガガガ…」という音と共に天井にポコッと直径八センチの穴があき、その穴からドリルが差し込んできたのです。それを見た作業員たちにはあるはずのない力が湧いてきました。「助かった…！」と彼らは喜びました。

その後、多くの人々が見守る中、全員無事に救出されました。わずかに直径八センチの穴から差し込んできたドリルは、真つ暗闇に射し込んだ一筋の光でした。絶望のどん底に射す希望の光でした。そのドリルは三十三名の作業員にとって「我にまかせよ、必ず救う」というはたらきでした。

人は生きれば生きるほど現実の自分に近づいていきます。幼い頃は何にでもなれる気がしていたけれど、大人になって何にもなれない自分に気がきます。悲しみも苦しみも、自分のことなのに自分でどうする事も出来ない無力さに失望します。弱さゆえ、そのことを忘れさせてくれる娯楽に走りまわります。しかし、それは何の解決にもなりません。

その自分が、無力な自分ではない悲しみの中に射した一筋の光が南無阿彌陀仏です。自分の力でどうすることも出来ず苦しむ私に「我にまかせよ、必ず救う」とはたらいてくださる阿彌陀さまのはたらきのことを他力というのです。

「他力」というのは如来の本願力なり。自分の力でどうすることも出来ない者を放っておくことが出来ない阿彌陀さまのはたらきが、今、私に届いたのが南無阿彌陀仏、この一声のお念仏でありました。

☎〇七八・三四一・八五四六番にて、兵庫教区青年僧侶の会で作られた三分程度のテレホン法話が配信されています。ご視聴ください。(電話料金はご負担ください。)

※過去に配信されたご法話を編集し掲載いたしました。



2022(令和4)年度 お盆参りについて(お知らせ)

例年、お盆参りは、8月15日の1週間前または5日前からご自宅にお参りに伺っていましたが、今年は下記の期間(1週間の間)にお伺いいたしたく存じます。

昨今の状況を鑑みますと、「どこのお寺に所属しているのかわからない」、「お寺にお参りしたことがない」といった方々がかなりの割合となってきております。少しでも、「別院(モダン寺)に親しみを持っていただきたい」、「私のお寺は、神戸別院(モダン寺)です」との認識をもっていただきたく下記のように変更いたします。

浄土真宗のみ教え、別院(モダン寺)を次世代へ繋ぐためにもご理解いただきますようお願い申し上げます。

○ ご自宅へのお参り期間

8月5日(金)~11日(木)

※ご自宅へのお参りは、事前にご登録いただいている方のみ行っております。

○ 別院(モダン寺)でのお参り

8月12日(金)~15日(月)

・総経 各日 ①11:00 ②14:00 (15日は、法要のため②は行わない)

※本堂にて、合同のお勤めをいたします。

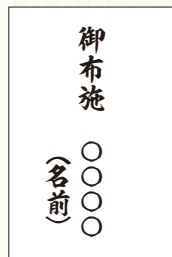
・納骨所読経 随時(15日の法要中は行わない)

※納骨所を使用されている区画の前にて読経をいたします。

おしえてモダン寺コーナー

問 ご法事や月参りなどのお参りの際、お渡しする袋にどのように書けばよいのかわかりません。書き方を教えてください。

答 表面には、「お布施」または「御布施」とお名前をお書きください。裏面には、袋に入れていただいた金額をお書きください。



※水引付熨斗でも結構です
水引の色 葬儀・・・黒白、銀
法事・・・黄白

2022(令和4)年度 本願寺神戸別院 法要行事予定

【恒例法要】

宗祖降誕会	5月22日(日)	午後2時
永代経法要	6月26日(日)	午後2時
暁天講座	8月1日(月)~3日(水)	午前7時
盂蘭盆会	8月15日(月)	午後2時
秋季彼岸会	9月22日(木)~24日(土)	午後2時
報恩講法要	11月26日(土)~28日(月)	午後2時
	日中:午前10時、速夜:午後2時	
除夜会	12月31日(土)	午後4時
元旦会	1月1日(日)	午前7時

阪神淡路大震災物故者総追悼法要・

「いのち」を考える研修会 1月17日(火)

春季彼岸会 3月20日(月)~22日(水)

※21日(火)は、納骨者総追悼法要を併修 午後2時

【日時勤行】

お晨朝 毎日 午前7時

【毎月の法座】

第一土曜仏教講座	第1土曜日	午後1時30分
常例法座	15日・16日	午後2時
土曜講座(別院職員による)	第3土曜日	午後1時30分